

Title	濠洲に於ける移民問題と国防問題
Sub Title	
Author	小倉, 和市
Publisher	三田学会
Publication year	1909
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.1, No.3 (1909. 4) ,p.402(130)- 405(133)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19090401-0130

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

る可からず。彼等は自己の所意に従ふて其財産を
 受用収益處分するの權能を有せざる可からず。土
 地私有制度の確立せられざる限り露國に於ける農
 工業の進歩發達は到底企及す可からず。徒らに舊
 習に拘泥するは畢竟嘲笑す可きの極のみ。何人に
 取りても良好なる制度が何を獨り農民に取りて不
 可なるの理あらんや。斯く論じ來りて同紙は次の
 如き嘲弄的結句を加へたり。

地主は其所有地域の悉皆を賣却するも何人も彼
 の不動産は破壊し去られたりとなすものなし。
 巨商、細買、職工の徒が其欲する所に從ふて自
 家の財物を處理するも何人も彼等の絶滅を憂懼
 するものなし。然るに可憐なる農民は自己の意
 思に反して長なへに部落共有の鎖鑰に緊束せら
 れざる可からざるか。彼等に與ふると愈多くし
 て彼等愈貧なりとは實に奇異の論理なりと云ふ
 可きに非ずやと。

贊否兩論旨の何れか正鵠を得たるものなるやは暫
 く措き、政府は放肆柔逸の徒が其土地を賣却し其

家族をして路頭に迷はしむるの慘劇を防止せんが
 爲め補充法則の制定を容認せざるを得ざりき。舊
 式共有の制度は確かに斯かる弊害の發生を避す
 るの效果を有せしは疑なき所なりと雖も之が爲め
 に農民の自尊獨立及謹慎なる諸性格の發達を阻害
 せしとも亦甚だ大なりと云はざるを得ず。兎に角
 評論家の多數は今後數十年間新法制の實施せられ
 ざることを冀望するもの、如し。進歩せる思想を有
 する自由黨員は曰く、「露國農民現下の急需は土地
 を増加して強制買収法を實行するにあり。從來權
 利關係の基礎となり社會の安固を保持し來りし制
 度を破壊し去り、現存社會狀態の下にて赤貧浮浪
 の徒を増加するが如き制度の設立は決して彼等の
 渴望する所に非ざるなり」と。

濠洲に於ける移民問題と
 國防問題

小倉和市

前濠洲聯邦總督ノースコート卿は先般帝國殖民協

會が卿の爲めに催したる晚餐會の席上に於て一場
 の演説を試みたり。其所說中同聯邦に於ける移民
 問題及國防問題に關し吾人亞細民族に關して指摘
 する所ありき。日本將來の移民方針及太平洋に於
 ける野心に關し議論喧しき今日、吾人が南方大陸
 の施政方針に就きて概括的知識を求むるは決して
 無用の業に非ざる可し。予は左にタイムスの所報
 に從ひ其要點を紹介せん。

卿は濠洲に於ける人口問題を以て一切の政治問題
 の中心點なりとなし、其解決如何は他の諸問題に
 根本的影響を及ぼすものなりと言へり。而して
 卿は本題に入るに先ち移民問題に對する濠洲の態
 度に關して流布せらるゝ誤解に就き簡單なる辯解
 を試み、英國の公衆をして濠洲を誤解せしむるに
 至りたる誤謬の原因は實に同地に於ける庸吏の行
 動にありとなし。濠洲は由來決して自勞自活の能
 力を具ふるものを排斥するの政策を採りたるにあ
 るを信せず、左れと濠洲には既に多數の無職者を
 有するを以て此上直に母國より轉住者の渡來を歡

迎するの準備未だ整はざるのみと云へり。斯く前
 提したる後卿は有色人種の移住問題に入れり。曰

有色人種の移住問題は最も重大なるものにして吾
 人は濠洲及大英國全體の觀點より此問題を攻究せ
 ざる可からず。吾人は有色人種が群を成して濠洲
 に渡來し勞働の供給を過多ならしむるが如きは絶
 對的に不可能なることを記憶せざる可からず。東西
 兩印度及南亞に於ては白人の人口は土着民族に比
 して甚しく僅少なるが故に、白人は智力の優勝な
 る點によりて其地位を維持せざる可からざるも加
 奈太に於ても將亦濠洲に於ても斯かる問題は起る
 ことなし。赤色印度人及び濠洲の土人は白人の侵
 入以來、漸次免かる可からざる自然的原因により
 て滅滅しつゝあり。左れど今若し堅忍不拔なる無
 数の亞細亞人が濠洲及び加奈太に渡來し、茲に定
 住せりと假定せよ。假令之等の領土が全然渡來せ
 る勞働者の爲めに侵蝕し終られざるにもせよ、濠
 洲人の見地より見れば合衆國に於ける黒奴問題よ

りも一層重大なる問題に遭遇したるものと云はざるを得ず。固より此問題は彼の宏漠たる北部の領土が白人によりて殖民し得らるゝや否やの點と重大なる關係を有するも、予は此點に關して今茲に確然たる意見を發表することを躊躇するものなり。予は白人にして刻苦耐忍周密なる注意を以て事に當らば、此廣瀾なる熱帶領土に殖民するの可能なるを信するも、斯かる氣候が果して老若男女に適應するや否や、或は健全なる壯丁は爾今幾百年此地帯に定住して其子孫の繁育を計るとを得るや否や等は實に重大なる問題なりと云はざるを得ず。廣袤五十萬平方哩を超ふるも白人の人口未だ甚だ稀少なり。予は斯かる廣漠たる地面が今後長へに空虚にして遺棄し去られんとを望むは到底不可能なりと云はざるを得ず。故に濠洲現下の大問題は實に此大領土を如何にして殖民す可きやの點にありとす。若し一朝交親國との平和關係破裂し、清國又は日本の如き大帝國と干戈を以て相見ゆるの時あらんか、彼等の軍隊が一舉にして壯麗

なるも毫も防禦なきダーウイン港を攻陥するは實に易々たるの事業なり。而して後彼等は此財源豊富なる地帯に其根據を構へて漸次南侵の歩を進め、遂に全く濠洲を席捲するの日なしとせんや。斯く論し來りて後卿は濠洲防禦問題に説き及ぼせり。曰く。如何に勇敢にして巧妙なる奮闘者たりと雖も、僅々五百萬の人口を以て廣袤全歐洲の三倍に恰當する一大陸を防禦し之を開拓するは到底不可能の事業に屬す。人口の點より云ふも將財政の點より云ふも彼等は到底自己の防禦を全ふするに足る可き戦備を整ふると能はざるか故に、一旦緩急あらば遂に母國の來援を俟つの外なし。左れと吾人は記憶せざる可からず。大英國と雖も其財源は無限なるに非ざるのみならず、其領域や實に全世界に跨れるが故に、其何れの部分に於て事變の起るとある可きやを豫期し難きものあるを。故に濠洲が母國より得可き援助の範圍は頗る狭く、彼等は到底自力によりて防衛するの外なしとす。現下の状態

に於ては濠洲は國防に關し大なる物質的貢獻をなすと能はずと雖も、若し不撓不屈の精神を以て母國と協力し自由移民政策の遂行に努力せんか、母國は其貴重なる臣民を南米又は合衆國に渡航せしむるの要なく、大英國領域の一部たる濠洲は之等の同胞を歓迎するに練々として餘裕ある者なり。予は現内閣が予の閣臣によりて企計せられたる防禦案に對し如何なる意見を有するやを知らず。將又同案が果して最良の計畫なるや否やを茲に論するものに非ずと雖も、濠洲人の觀點よりして此計畫は決して利己的のものに非ざるを信ず。斯くて卿は濠洲の内情を披瀝して將來に於ける本土臣民の渡航を奨励せり。曰く。刻苦耐忍によりて生計の途を得んとする者に取りては濠洲到る所之を容るゝの地多し。予は南船北馬同洲の内部を精細に調査せるを以て。聯邦の各部に移住者を容るゝの地頗る多きを斷言するの權利を有するものなり。固より濠洲の地たる大地主の手に歸せるもの頗る多しと雖も之等の地主にし

て若し其所有地の賣却を好まざるものあらば聯邦各洲の政府は其保有せる豫備地を供給するに吝ならざる可し。灌漑術其他の科學的耕地法を用ふるときは移住者は他の競争に對持するを得つ、漠々たる荒野を變じて沃饒の地となすことを得ん。予は現にニューサウスウェールズ及ヴィクトリアに於て工事中なる宏大なる灌漑計劃が遠からず竣工す可きを見。耕耘可能なる地面の著しく擴大されんとを想ふて眞に愉快に耐へず。予は各種の委員又は個人が如何なる報道をなしつゝ、あるかに懸念なく開墾の業に従はんとする者に取りて濠洲は幾久しく有望の地たるを斷言するに憚らざるなりと。